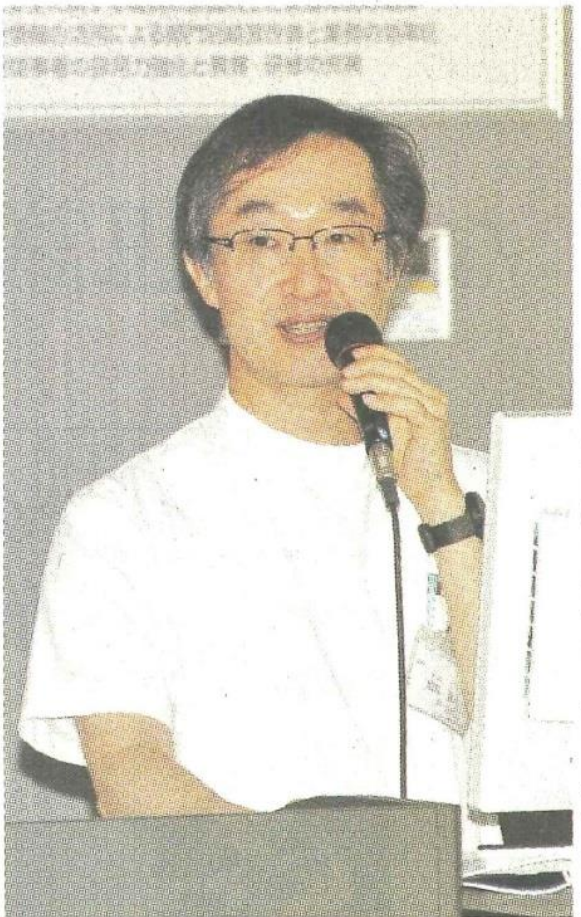


ダヴィンチ手術の 利点分かりやすく

製鉄室蘭病院市民セミナー



製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の「第52回市民公開がんセミナー」が11日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開か



「大腸がんとダヴィンチ手術」について
解説する仙丸副院長

れ、市民らは、内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた大腸がんの治療の現状などを学んだ。

市民ら約50人が耳を傾ける中、仙丸直人副院長(外科・消化器外科)が解説。

ダヴィンチ手術は、2012年(平成24年)に前立腺がんの前立腺全摘術が保険適用になったのを皮切りに、18年には大腸、肺、膀胱がんなど、計12術式が追

加されるーなど、保険適用が拡大した現状を説明した。

その中で、大腸がんのダヴィンチ手術は、「直腸がんは、骨盤の狭い領域での操作を要するが、安定した術野で繊細な手術操作が可能」、「がんの根治性、機能温存の向上、学習曲線の短縮などに寄与できる」などと強調。西胆振管内では唯一となるダヴィンチ手術が、地域医療にもたらすメリットなどにも触れた。

一方、大腸がんの治療成績も解説。ステージ(病期)がIは95・5%、IIは88・4%となっている5年生存率にも触れ、「早期に発見できれば治る可能性が高い病気。検診を受けましょう」と呼び掛けた。

(松岡秀宜)